2023/10/15 改訂

大西 勇喜謙

総合研究大学院大学
統合進化科学研究センター 講師

〒 240-0193 神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村
統合進化科学研究棟 3F 301B
Tel: 046-858-1643
Email: oonishi_yukinori@soken.ac.jp

専門分野: 科学哲学
入門科目対応可能分野: 認識論，研究公正，科学技術社会論，論理学

所属学会
Philosophy of Science Association，日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会

学歴

2003 年３月　私立清風南海高校 卒業
2003 年４月　京都大学文学部 入学
2007 年３月　同学部 卒業
2007 年４月　京都大学大学院文学研究科 科学哲学科学史専修 修士課程 入学
2009 年３月　同課程 修了
2009 年４月　京都大学大学院文学研究科 科学哲学科学史専修 博士課程 進学
2012 年３月　同課程 研究指導認定退学
2015 年３月　同課程 博士号取得（文学博士）

職歴

2010 年４月１日－2012 年３月 31 日　日本学術振興会特別研究員　DC2
2012 年４月１日－2013 年７月 31 日　京都大学文学部 非常勤講師（系ゼミナール）
　　摂南大学非常勤講師（基礎教養演習）
2013 年８月１日－2014 年７月 31 日　フルブライト博士論文研究プログラム奨学生
　　(マイアミ大学訪問研究員)
2014 年８月１日－2015 年３月 31 日　京都大学文学部 非常勤講師（系ゼミナール）
2015 年４月１日－2015 年９月 31 日　奈良先端科学技術大学院大学非常勤講師（科学哲学）
2015 年４月１日－2021 年３月 31 日　総合研究大学院大学 助教
2021 年４月１日－現在　総合研究大学院大学 講師

受賞歴

石本賞（日本科学哲学会）2013 年 11 月 23 日

研究助成・外部資金

- 日本学術振興会特別研究員（2010 – 2012）
- フルブライト奨学金 日米教育委員会（2013 – 2014）
- 若手研究者による国際ワークショップ 京都大学　1,900 千円 2016 年度.
- 日本学術振興会 科学研究費 若手研究（代表）「科学的表象理論に基づく『データのモデル』の分析と科学的実在論論争への含意の検討」2018 – 2020 年度．総額 3,250 千円
- 日本学術振興会 科学研究費 基盤 B（分担）「 科学的実在論論争の歴史的パースペクティブ上での再検討」2018 – 2020 年度．総額 7,930 千円
- 日本学術振興会 科学研究費　基盤 C（代表）「科学的実在論論争への認識論的アプローチの現代的更新」2023 – 2027 年度　総額 2,860 千円

研究業績

<u>学位論文</u>

Yukinori Onishi, *Epistemological Analysis of the Scientific Realism Debate*, Doctoral dissertation thesis submitted to Kyoto University, 2015.
審査委員：伊勢田哲治（主査），伊藤和行，出口康夫

<u>査読論文</u>

- Yukinori Onishi. “Deep learning-aided research and the aim-of-science controversy.” *Journal for General Philosophy of Science.* (forthcoming)
- Yukinori Onishi and Davide Serpico (Co-first). “Homeostatic Property Cluster Theory without Homeostatic Mechanisms: Two Recent Attempts and their Costs.” *Journal for General Philosophy of Science,* 2021 (Online-first).
- Yukinori Onishi and Otávio Bueno (Co-first). “The likelihood ratio measure and the logicality requirement.” *Erkenntnis*, 2020 (Online-first).
- 大西勇喜謙.「科学哲学と研究公正」『地盤工学会誌』67-9 (740): pp. 52-59. 2019.（依頼あり）.
- Yukinori Onishi. “Defending the selective confirmation strategy.” *Studies in History and Philosophy of Science*, Part A. Vol. 64, pp.1 – 10, 2017. (DOI: 10.1016/j.shpsa.2017.07.001)
- 大西勇喜謙.「調和主義的観点からの実在論論争」,『科学哲学科学史研究』 第 6 号, pp. 39 – 59, 2012.
- 大西勇喜謙.「認識論的観点からの実在論論争」,『科学哲学』　44 号，pp. 65 – 81，2012.
- 大西勇喜謙.「実在論論争の舞台を考える—Van Fraassen の主意主義的認識論の検討を中心に—」,『科学哲学科学史研究』　第 4 号，pp. 65 – 83, 2010.

査読なし論文

- 大西勇喜謙,「認識論的観点からの実在論論争—信頼性主義を例に—」, *Nagoya Journal of Philosophy*, Vol. 10, pp. 37 – 57, 2011.（招待あり）
- 大西勇喜謙,「理論観の転回とモデル概念」,『科学哲学科学史研究』 第 2 号, pp. 101 – 116, 2008.（サーベイ論文）

その他の原稿

- 総合研究大学院大学 科学知の総合化特別委員会.『科学知の総合化プロジェクト成果報告書』2016 年 3 月（編集/一部執筆）.
- 大西勇喜謙,「国際学会参加報告記」, 日本科学哲学会ニューズレター No.47, 2011.
- 大西勇喜謙, 書評：A Metaphysics for scientific realism: Knowing the unobservable 『科学哲学科学史研究』 第 5 号, pp. 123 – 126, 2011.
- 大西勇喜謙, 書評：Scientific representation: Paradoxes of perspective 『科学哲学科学史研究』第 4 号, pp. 146 – 148, 2010.

口頭発表

2023

- 大西勇喜謙.「科学的に確証されていない主張の類型学」火ゼミ オンライン 2023 年 5 月 23 日.

2022

- 提題・登壇. JAAS キックオフミーティング オンラインワークショップ「『科学とはなにか』を改めて問う ～異なる『科学』への視点を対話する～」 2022 年 6 月 20 日.
- コメンテーター. Soohyun Ahn, “Creating an maintaining scientific categories: Values and entrenchment.” The 9th online event of the Asian Epistemology Network. 2022 年 5 月 27 日.

2021

- 大西勇喜謙.「GAN による認識能力拡張は 新帰納法への有効な応答を与えるか」ワークショップ「科学的実在論論争の過去・現在・未来」日本科学哲学会年次大会. オンライン. 2021 年 11 月 28 日.

2019

- 大西勇喜謙.「科学的実在論論争における観察装置をめぐる議論」ワークショップ「観測・視覚化と実在」日本科学哲学会年次大会. 慶應義塾大学三田キャンパス. 2019 年 11 月 10 日.
- Yukinori Onishi. “Deep Neural networks and the aim-of-science dispute.” CLMPST 2019. Czech Technical University, Prague, Czech, Aug 9th, 2019.
- Yukinori Onishi and Davide Serpico. “Is everything fine if natural kinds are nodes in causal networks?” GWP 2019, Universitäte zu Köln, Feb 25th, 2019.

2018

- Yukinori Onishi. “Neural networks and the aim-of-science dispute.” Workshop on the Diversity of the Scientific Realism Debate. Japan Association for Philosophy of Science Fall annual meeting, Nihon

University, Nov 10th, 2018.

2017

- 大西勇喜謙.「科学的実在論論争の基本的論争構造」第 6 回 量子基礎論研究会．名古屋大学東京オフィス．2017 年 3 月 7 日.（招待あり）
- Yukinori Onishi (speaker), Nozomi Mizushima, Kaori Iida, Kenji Ito. "Deeper Understanding through a Broader Perspective: Report of Research Integrity Education at SOKENDAI." Asia and Pacific Rim Research Integrity Network (APRIN) Meeting, Hong Kong University, Hong Kong. Feb 21st, 2017.

2016

- Yukinori Onishi. "Defending the selective confirmation strategy," International Workshop on Scientific Realism, Kyoto University, Jul. 30th, 2016.
- 大西勇喜謙,「科学的実在論論争とは何か」学融合セミナー，総合研究大学院大学 学融合推進センター，2016 年 5 月 18 日.
- 大西勇喜謙,「科学における視覚表象についての科学哲学的関心」，ワークショップ「現代科学における視覚表象の認識論へ向けて」，応用哲学会第 8 回年次大会，慶應大学三田キャンパス，2016 年 5 月 7 日.（招待あり）
- Yukinori Onishi, "Defending selective confirmation strategy," GWP 2016, Universitäte zu Düsseldorf, Germany, Mar 11th, 2016.
- 大西勇喜謙「科学におけるコンピュータ・シミュレーションについての科学哲学的関心」コンピュータ・シミュレーションの科学論研究会，国立科学博物館，2016 年 3 月 5 日.

2014

- Otávio Bueno, 大西勇喜謙,「尤度主義の技術的問題点について」科学哲学若手の会，京都大学，2014 年 9 月 28 日.
- Yukinori Onishi, "Misconception as a form of acceptance," Southern American Japan Seminar, Florida International University, Mar.7, 2014.

2013

- 大西勇喜謙,「選択的実在論をいかに擁護するか」，科学基礎論学会，大阪大学，2013 年 6 月 13 日.

2011

- 大西勇喜謙,「新帰納法が提示する新たな論点」，応用哲学会臨時研究大会ワークショップ，京都大学，2011 年 9 月 25 日.
- Yukinori Onishi, "The Scientific Realism Debate from the Epistemological Viewpoint,"14th CLMPS, Nancy, France, Jul 19-26, 2011.
- Yukinori Onishi, "Analyzing the Scientific Realism Debate from the Epistemological Viewpoint," The First Japan-Korea Workshop on Philosophy of Science, Kyoto University, Kyoto, Feb 21-22, 2011.

2010

- 大西勇喜謙,「認識論的観点からの実在論論争—信頼性主義を例に—」，名古屋哲学フォーラム，南

山大学，2010 年 9 月 11 日．（招待発表）

- 大西勇喜謙，「認識論的観点からの実在論論争―文脈主義を例に―」，京都科学哲学コロキアム，京大会館，2010 年 7 月 25 日．

2009

- 大西勇喜謙，「認識論的観点からの実在論論争」，日本科学哲学会第 42 回年会，高千穂大学，2009 年 11 月 21 日．

社会貢献

- 文部科学省 科学技術・学術政策研究所科学技術予測センター専門調査員（2017 年度）
- 先導科学研究科 学術講演会「ヴェールの向こう側：科学は我々に何を教えるのか」 2017 年 11 月 3 日．総研大葉山キャンパス
- フルブライト奨学生渡航前オリエンテーション リソースパーソン, 2016 年 6 月 6 日．
- Florida Statewide Japanese Speech & Skit Contest 審査員，Florida International University, Mar.29, 2014.

査読担当

科学基礎論研究 / 科学哲学 / Synthese / The Southern Journal of Philosophy / Asian Journal of Philosophy/ International Studies in the Philosophy of Science / Book chapter of edited volume (Oxford University Press) / Book manuscript (The MIT Press)

ワークショップ・シンポジウム企画

- オンライン合評会「松王政浩著『科学哲学からのメッセージ』（森北出版 2020 年）」
- ワークショップ「データ同化の科学論へ向けて：研究実践から論点を探る」科学基礎論学会 秋の研究例会．日本大学. 2019 年 11 月 30 日．
- シンポジウム企画委員. The 10th Anniversary International Symposium, Evolutionary Studies of Biosystems: History, the cutting edge and the future. Shonan Village Center, Feb 26-27, 2018.
- ワークショップ：International Workshop on Scientific Realism. Kyoto University. Jul 30-31, 2016. Invited speakers: Juha Saatsi, Timothy Lyons, Teru Miyake, Ruey-Lin Chen, Karen Yan, Jonathon Hricko, Minwoo Seo, Rei Nouchi, Tomoko Ishida, Satoshi Kudo.
- シンポジウム企画委員．科学知の総合化プロジェクト最終年度シンポジウム「科学と社会とのより良い関係へ向けて」東京コンベンションホール．2016 年 2 月 20 日．
- ワークショップ：Representation, reality, and the philosophy of special sciences. Japan Association for Philosophy of Science Fall annual meeting, Nihon University, Nov 6th, 2011. Invited Speakers: Szu-Ting Chen, Hisashi Nakao, Rei Nouchi.
- ワークショップ「科学的実在論論争の諸論点を再訪する」応用哲学会臨時研究大会ワークショップ，京都大学，2011 年 9 月 25 日．

担当科目

本務校

- フレッシュマン・コース（分担：研究者倫理担当，日/英）
- 科学・技術と社会 I, II（分担：科学哲学担当，日/英）
- 生命科学と社会 I （分担：科学哲学担当，日）
- 科学と社会 副論文入門（分担，日）

非常勤

- 研究者倫理（東京電機大学，東京工業大学，日）
- 研究公正（東北大学，分担：研究者倫理担当，日）
- Science, Technology and Society（国立台湾大学，分担：研究者倫理担当，英）
- 科学哲学（奈良先端科学技術大学院大学，日）
- 基礎教養演習（摂南大学，日）
- 研究方法論（東京工業大学，日）